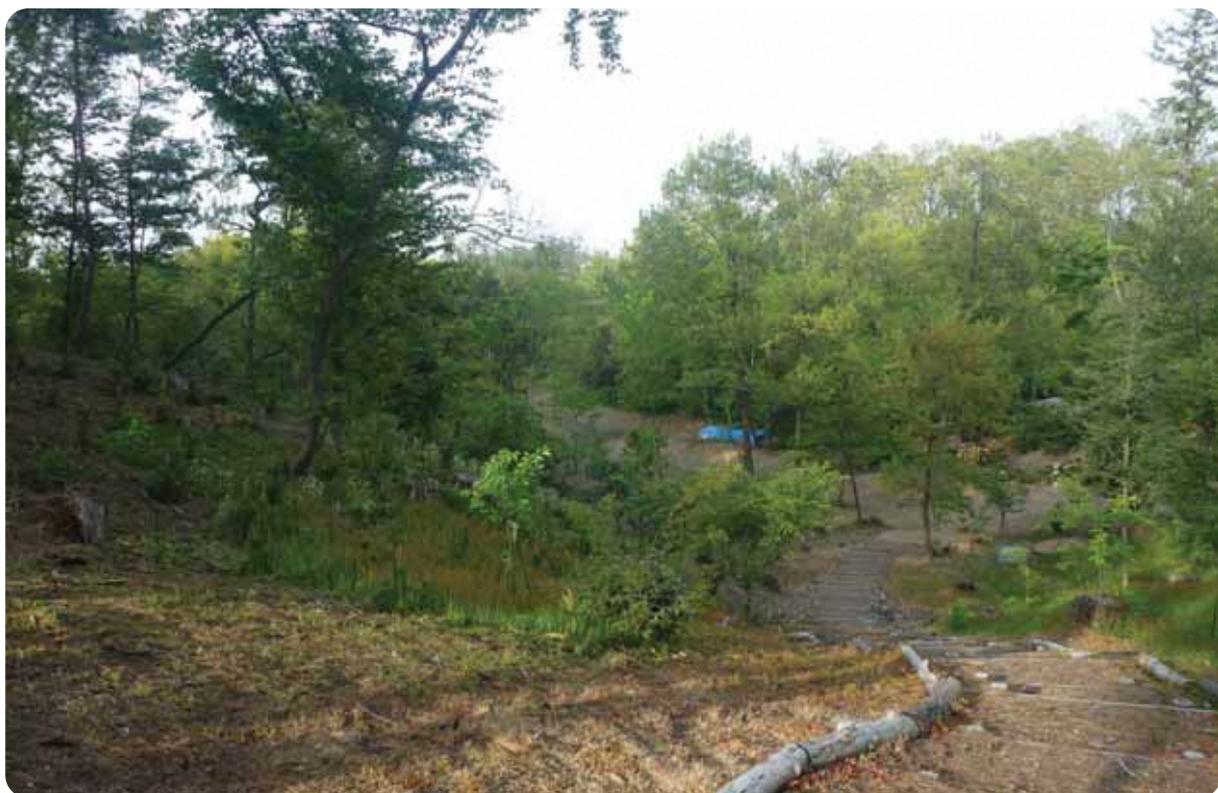


## ■ 高坂の平地林（高坂町）



### ■ 環境の特徴

高坂の平地林は「根上の松」のある孤立した小さな林です。海岸に近いために砂質土壌です。アベマキやヤブツバキ、マツなどの雑木林で、林床にはセイタカアワダチソウやサルトリイバラ、イネ科植物などの草本が多く生えています。ここは地域の人によって管理され、下草刈りや植栽が行われています。

林を抜けるとマツがまばらに生えているだけで、遊歩道が設置されるなど公園として整備されています。また、平地林の周囲には草地が広がっています。

位置図



林の周辺の草地にはバッタ類が多い。



林内や林の縁にはコウチュウ類やカメムシ類が多い。

### ■ すんでいる昆虫の特徴

雑木林周辺の明るく開けた草地には、ハラナガツチバチが飛び交い、秋になるとコオロギ、ツユムシなどの鳴く虫の声が多く聞かれます。また、当地にはマツが多いため、それを食樹とするウバタマムシ、クロカミキリ、コガネムシ類の多いのが特徴です。また、幼虫がナラ科植物を食べるミズイロオナガシジミが今でもすんでいます。一方、チャドクガの大発生は自然環境が単純になってしまったことを示していると言えるでしょう。



## ナナホシテントウ



見られる時期

ほぼ一年を通して見られ、成虫で越冬します。



### ■生態

成虫、幼虫ともにアブラムシ類を食べて成長します。はでな色合いは「警戒色」で、さわると脚から黄色いくさい液体を出します。

### ■体の特徴

体長は約1cmあり、赤い地色に黒く丸い紋が7つあるのが特徴です。



## ウバタマムシ



見られる時期

成虫は7月から8月に見られます。



### ■生態

メスはマツの倒木に産卵します。ふ化した幼虫はマツの材の部分をトンネル状に掘りながら食べて成長します。成虫が活発に活動するのは真夏の日中で、日当たりの良い場所にあるマツの倒木付近を飛んでいるのが観察できます。

### ■体の特徴

体長が約4cmあるタマムシの仲間です。体は赤みをおびた銅色で、金属光沢があります。



## オオコフキコガネ



見られる時期

6月から9月に見られます。



### ■生態

平地から里山の砂地の多い場所で見られます。日中はあまり見られない夜行性のコガネムシで、夏に外灯などの光に飛んできます。成虫はヌルデの葉を食べます。

### ■体の特徴

体長は約3cmあり、コガネムシの仲間では大型の種類です。体の表面が灰白色の細かい毛で覆われているのが特徴です。本種と似た種類にコフキコガネがありますが、これは黄色の毛で覆われています。



## ハラナガツチバチ



見られる時期

7月から9月ごろまで見られます。



### ■生態

明るく開けた場所を好みます。ツチバチの仲間は寄生蜂で、コガネムシ類の幼虫を見つけると幼虫の胸部あたりに麻酔針を打ち込み、その体に産卵します。ふ化したツチバチの幼虫は麻酔されたコガネムシの幼虫を食べて成長します。

### ■体の特徴

体長は約3cmあり、ツチバチの仲間では大型です。全身が毛で覆われており、腹部は黄色と黒のしま模様をしています。足は太く丈夫で、土を掘りやすいように複数のトゲがあります。



## ジャノメチョウ



8月から9月まで見られます。



### ■生態

他のジャノメチョウの仲間と異なり、草原を好み、林の中には入らないようです。成虫は花や樹液に集まります。幼虫はススキなどの葉を食べます。

### ■体の特徴

ハネを広げた大きさは約7cmあります。ハネはこげ茶色で、前バネに2つ、後ろバネに1つの目玉もようのあるのが特徴です。



## チャドクガ



幼虫は5月から6月と9月、成虫は7月と10月に発生します。



### ■生態

メスはツバキやサザンカの葉に卵塊として卵を産みつけます。幼虫は群生して葉を食べ、当地では6月にヤブツバキでたくさん見られました。幼虫の体には「毒針毛」があり、肌が触れると炎症をおこします。この毒針毛は幼虫だけでなく、成虫にも付いています。

### ■体の特徴

ハネを広げた大きさが約2.5cmのドクガの仲間です。体は黄色ですが、オスには黒っぽい色の個体があります。メスの腹部の先端はふくらんでいて、毒針毛が付いています。



- マツ林の根際は砂地となっているため、すり鉢状をしたアリジゴクの巣を観察できます。アリジゴクはウスバカゲロウの仲間の幼虫で、それを取り出して観察することができます。



- 所々に朽ちた木があり、崩してみると中からヤマトシロアリやコクワガタの幼虫などが出てきます。虫が入り込んでいる倒木は、朽ちて柔らかくなったもののほうが多いです。



- 林の縁の草地には、アオクサカメムシやバッタ、アブ、ハチの仲間など多くの虫を観察できます。アミを使って草むら进行ガサガサとすくってみると、いろいろな虫を捕ることができます。

### ■ 保全のために

高坂の平地林は、能美市の景勝地として整備されていますが、面積の半分くらいを占める雑木林や草地は人の手があまり入っていません。現在の状態が維持されれば、保全上の問題はありません。しかし、これ以上、人為的影響が多くなれば、虫たちの生存が脅かされるでしょう。